

私と陶芸

みつこ
倉田 満子さん (御荘平城)



◀ 一カ月ほど乾燥させた壺を紙やすりで磨き、表面を整えた後に釉薬を塗り、本焼きする

“陶芸も絵画も洋裁も、作品作りは全て繋がる”

美しい風景を描いた油絵やコーヒーカップ、自身が作り上げたインテリアで店内を飾り、喫茶店を営む倉田満子さん。店舗の2階に設けた作業場で、洋裁や絵画などさまざまな制作活動を行っています。

自分の作った抹茶茶碗でお茶を点てたいという思いから、30年ほど前に陶芸を始めた倉田さん。基礎を学んだ後に創造展への出展を進められると、新人賞に輝きました。その後何度も失敗しながら自己流で作品を作り、現在まで数々の作品展で優秀な賞を受賞してきました。現在は、5月20日(金)から東京都美術館で開催される「第75回創造展」に出展する壺作りの佳境を迎えています。

作品を完成させるまでには、成形から最終工程の本焼きまでに2~3カ月ほどの時間を要しますが、「最近は力が入りづらくなってきたので、土に含まれた空気が抜けずに焼いた際に割れてしまう」と話すように、思い通りの作品を作り上げるまでには苦労を強いられます。

「何でも徹底的にやり続ける姿勢を持てるのは、やりたいことを何でもさせてくれた母のおかげ」と微笑みを浮かべ、「作品作りを頑張っている間は元気でいられるので、できるだけ出展し続けていきたい」と今後の制作活動への意欲を見せました。



編集後記

桜の咲く季節。卒業や入学、異動、転勤など期待や不安を胸に、新しい環境での生活を始める人も多いのではないのでしょうか。人生は出会いと別れの連続と言われますが、新しい刺激や変化は新たな自分に出会えるチャンスでもあります。

広報担当として多くの人に出会えた1年間は私の成長の一步になったのではないかと思います。

この春より広報の担当になり、現在は使い慣れない一眼レフカメラに奮闘中です。

小学生の頃から見慣れた広報誌には、単なる記事だけではなく地域の方々の思い出も数多く詰まっていると感じます。広報の制作にあたり、写真と文章をうまく活用し、皆さまの元に地域の記録と思い出をより多くお届けできるよう、努力してまいります。

○

M



編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

<https://www.town.ainan.ehime.jp/>